

総合評価の目安

評価できない	改善点が多い	部分的に評価できる	改善点はあるが評価できる	高く評価できる
0点	20点	40点	60点	80点
				100点

評価・検証の内容 (10項目 × 10点満点)		平均点
形式・妥当性	① 数値目標、達成期限、財源、手法	3点
	② 地域の事情や住民ニーズ、有効性	3点
	③ 地域の分権・自立	5点
推進・進捗よく度	④ 住民に対する周知・説明	4点
	⑤ 町長のリーダーシップ	5点
	⑥ 市民団体の理解・協力	5点
	⑦ 推進体制 (組織機構)・実行計画	4点
効果	⑧ 評価、検証、満足度	4点
	⑨ 課題の解決、住民の生活向上	5点
	⑩ 問題意識や課題検討	5点

総合評価 43点

※総合評価は、意見交換会に参加された町民など18人の平均点です。

- ③ 地域の分権・自立
  - ・ 幼い年齢なら社会と向き合う可能性がある。地域社会に無関心な若者を巻き込む可能性もある(7点)
  - ・ まだ、行政主導である。民間を巻き込んで役割分担をしたい(0点)
- ④ 住民に対する周知・説明
  - ・ 教育フォーラムが周知、報告の役割を担うと思うが、住民に伝わっているかは疑問(4点)
- ⑤ 町長のリーダーシップ
  - ・ 教育委員会に丸投げの感じがいな

- ⑥ 市民団体の理解・協力
  - ・ 小、中、高、大間の連携が取れていることは評価できる(7点)
- ⑦ 推進体制 (組織機構)・実行計画
  - ・ 学校間のみで評価できない(0点)
  - ・ 住民不在ではあるが学校間の交流は図られている。目標が決まれば、運用や実行の体制は整う(4点)
  - ・ 町民(保護者、一般)を巻き込んだ実行体制、計画が必要(2点)
- ⑧ 評価、検証、満足度
  - ・ 教育フォーラムの位置づけ次第では、良い評価・検証になる(5点)
- ⑨ 課題の解決、住民の生活向上
  - ・ 学校間の連携で、子ども達の心の向上にはつながっている(7点)
  - ・ 地域素材を活かした町づくりの目的は、ある程度有効(3点)
- ⑩ 問題意識や課題検討
  - ・ 子ども達の向上は、御船町の向上になる(10点)

独自性のある学園都市 企業への仕組みづくり

意見交換会の総評で、神吉信之氏(ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表)は、「交流事業を通じて効果が表れてきているが、御船ならではの学園都市構想を考えたとき、住民や外部向けのメッセー

地域素材をどう活かす 世代の壁を超えた交流 2回目となった意見交換会では、マニフェストの柱3「こども達が健康やかに育つ環境の実現」に含まれる「学園都市構想の推進」が評価・検証に選ばれました。 担当の学校教育課では、①幼・保、小、中、高、大の代表者会議②教育振興基本計画策定の協議検討③教育フォーラム開催などの事業を取り組みとして説明(下表)。この取り組みは、町内の幼児から大学生までが世代を超えた連携を図り、地域素材(人、もの、文化)を活かした町づくりを目指すものです。取り組みの中で、教育フォーラムで多くの参加者との感動共有や教育振興基本計画策定で具体的な学園都市の位

政策

今、求められる教育環境 学園都市は無限の可能性

問 総務課秘書係 (内線203)

マニフェスト(公約)の進捗よく状況を町民の目線から評価・検証をする意見交換会が11月13日、カルチャーセンターで行われました。ここでは、担当課の事業取り組みに対しての町民評価を整理してお知らせします。

置づけを実績と説明。さらに、御船高校や平成音楽大学が、幼稚(保育)園や小中学校と連携した交流が増えたことを成果として挙げました。

学校間の交流は高評価 民間と連携が重要課題

学校教育課からの事業説明を受けて、評価・検証(10項目×10点満点)をワークショップ形式で行い、次のような意見をもとに採点されました(11ページ表)。 ①数値目標、達成期限、財源、手法 ②地域事情や住民ニーズ、有効性 ③地域資源活用という点では理解できる。住民ニーズは不明(5点)

主な取り組み	実施年度			効果・成果	期限(年月)	達成度(%)
	H19	H20	H21			
① 幼・保、小、中、高、大の代表者会議 町内の幼稚(保育)園と教育機関が交流を図るための調整を行う会議	○	○	○	子ども達の活躍や交流の場が増え、人間性を養う効果がでてきている	—	—
② 教育振興基本計画策定の協議検討 平成22年度から向こう5年間を見据えた教育目標の計画を進めている	—	○	○	計画書に「学園都市の実現」を位置づけている	—	—
③ 教育フォーラム開催 幼児から大学生までが年に1回、音楽交流を中心として一堂に会する	—	○	○	参加者に夢と感動を与えることができた	—	—

学園都市構想の取り組みを簡単ご紹介



御船町の教育ルールをまとめた「御船町教育振興基本計画」(概要版)。学園都市の実現や子育て支援などの具体的な取り組みが幅広く決められている(写真左)。11月21日に開催された教育フォーラムで、御船高校芸術コース美術専攻生の似顔絵コーナーや、平成音楽大学生の生演奏が披露された。町が誇る芸術文化の継承者たちが、次代の宝たちに本物の芸術をプレゼントしていた(写真中・右)

**1月の意見交換会のお知らせ**  
 テーマ：行財政改革  
**「自主財源の確保 (町税徴収率の向上 90%)」**

▶日時 1月19日(火)  
 午後7時30分～午後9時

▶場所 カルチャーセンター2階大会議室

ジに欠けている。そこを明確にする外部も含めた交流がやりやすくなる。企業との連携は、企業に情報発信するだけでなく、企業が協賛したくなるような仕組みづくりをしていくといい。取り組み自体は、非常に可能性を秘めている」とコメント。 宮村のり子教育長は、「町民への周知、内容の工夫が必要と感じた。いただいた意見を取り入れながら学園都市構想を推進していきたい」と学園都市への期待を、教育機関のリーダーとして総括されました。